

Errata Sheet  
( Hirota)

Def. Doc. #3016

Line 2

"25 October, 1937" should be read as  
"2 November, 1937-----chapter 254"

SAIONJI-HARADA MEMOIRS

25 October 1937

I returned on the 2nd. At noon I had lunch with Arita and Matsudaira, Yoshimasa. At that time Arita said that anti-British movement was very strong and that great caution was necessary. I instructed them to talk to the heads of the spinning industry who were anti-British and show them the advantages and disadvantages by having Inukai talk to Miyajima, Sejiro and by having Ikeda talk to Tsuda, Shingo. - - - - Miyajima, Sejiro, and others said that if that was the opinion of the Government, they would of course stop it.

Exh. No. -----

Doc. Doc. 3016

西園寺原田日記

十二年十一月三日 二百五十四回

二日に自分（原田）は歸つて来て至。有田、松平、康昌と三人で食事  
をして其時に有田が矢張「排英運動が非常にひどい、餘程注意を要  
する」と云ふことであつたから一應大勢を以て宮島清次郎氏に、そ  
れから池田氏に頼んで津田信吾氏にと云ふ風に紡績關係の排英の巨  
頭連中に先づよく利害得失を話すやうに言つて置いた。昨日外游  
大臣がいろんな實業家をお茶かなんかに呼んで話した時に「其排英の巨  
頭運動は今非常に困る、殊に今イギリスを置いて外に支那との間に入  
り切かれは結局に於て何時かいギリスと競はなければならん、或は矢張  
をする事は以ての外の事だ、殊に今外交上さう云ふ事をやられては政府とし  
て困る」などと云ふ事を言つた事が、官鳴清次郎等は「そんなやう  
な政府の考なら無論よさう」と言つて居つたと云ふ事である。

「英國大使の語した」は「英國大使の語しに」の誤り  
第三頁第三行  
同慶國外が大臣の語に 以下削除のこと

翻譯文書三〇一五一〇

和文本文第二行「一九二三年」は「一九二二年」の誤り

翻譯文書三〇一六  
和文本文第五行「昨日外務大臣がいろんを言葉家  
政府としてゐる一まで削除の事

翻譯訳文書三〇一五一〇

「英國大使の話した」は「英國大使の話した」の誤り  
第3頁第3行  
尙履田外の大臣の話に 以下削除のこと

翻譯訳文書三〇一五六  
和文本文第二行「一九二三年」は「一九一二年」の誤り  
和文本文書三〇一六  
和文本文第五行「昨日外務大臣がいろんな意見を数種11111以下  
政府として取る一まで割合の事